

# 核兵器の廃絶と戦争のない平和な世界をめざして 「2015ピースアクション in TOKYO」 & 「ピースパレード」

～つないでつないで 東京から平和を～

「核兵器廃絶と戦争のない平和な世界をめざして」、被爆70年の今年も東京から世界へ向けて平和への思いと核兵器廃絶を訴えるピースアクション in TOKYO & ピースパレードを開催しました。

あいにくの雨となり、パレードは中止となりましたが、多くの方がつよい、朗読や発表に耳を傾けました。今年はNPT再検討会議派遣メンバーの壮行会も兼ね、核兵器廃絶と平和な世界を願う思いをつなぎあうことができました。

開催日時：4月13日（月）10：00～12：00  
開催場所：東京ウィメンズプラザホール  
参加人数：6生協、2団体 他 193名  
主催：一般社団法人東友会（東京都原爆被害者団体協議会）  
特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟  
東京都生協連平和活動担当者連絡会  
協賛：日本生活協同組合連合会

## 開会あいさつ

平和は安らげる生活の基本です。核兵器は非人道的兵器であり、世界でもその理解がすすんでいます。NPT再検討会議で核廃絶の道筋がつくことを願います。若い人たちも巻き込み、一人ひとりでも取り組める活動も地域ですすめていきましょう。



コープみらい理事  
井上深雪さん



司会  
東友会  
村田未知子さん



## ピースコンサート

今年のピースコンサートは佐々木祐滋さんの語りと歌をお届けしました。

佐々木さんは広島平和公園の「原爆の子の像」で知られる佐々木禎子さんの甥にあたり、叔母である禎子さんの思いを伝えるべく活動をしています。禎子さんが折り鶴に託した願いと祈りを込め、同じ過ちを繰り返さず、原爆被害を風化させないとの思いで歌い続けていきたいと話し、「祈り」と「土」の2曲を披露しました。強い思いのこもった歌声が会場に響き、被爆70年のピースアクションにふさわしい幕開けとなりました。

## 「語りつぐ」非核の願いを世界へ

今年の「語りつぐ」は『非核の願いを世界に』として、被団協が作成しNPT再検討会議の会場となるニューヨークの国連本部で開催される原爆展のパネルを映像と朗読で紹介しました。

原爆投下時のキノコ雲の様子、絵で描かれた逆に生々しい「原爆の凶」、そして原爆投下前と後の広島の写真。そこには人々のくらしの営みが一瞬にして失われたことが物語られていました。そして原爆投下後の避難所や病院の様子と放射線が与えた深刻な被害の様子も語られました。さらにその後も続いた核保有国による核実験と原発事故などの放射線被害の報告、また世界各地で開かれた、核兵器廃絶を求める会議の様子も紹介されています。最後は被爆者が孫娘に遺したメッセージと今に生きる私たちが核兵器の被害について学び、伝えていく使命を持つという言葉で締めくくられました。



朗読は、コープみらいの田中美紀さん、東京南部生協の関根明美さん、東都生協の野島美幸さんが 担当しました。



田中さん



関根さん



野島さん

## 広島市長、長崎市長からのメッセージ

松井一寛広島市長、田上富久長崎市長からのメッセージが、広島市東京事務所の岩崎学さん、長崎市東京事務所の神近宣博さんより伝えられました。NPT再検討会議に臨んでの決意と期待が述べられ、また今後も被爆者とともに核廃絶と恒久平和に向けて発信していくこと、ピースアクションへの期待と信頼が表明されました。



広島市長、長崎市長のメッセージを代読する岩崎さん（左）と神近さん（右）

## 参加団体 リレートーク

参加団体がそれぞれ団体紹介と平和活動の報告や取組みについて発表しました。被爆70年、NPT再検討会議に向けての思いも語られました。

今年は東京都生協連平和活動担当者連絡会としてコープみらい・パルシステム東京・東都生協・東京南部生協より、大学生協連として白梅学園大学より、医療生協から東京保健生協、東友会、東京地婦連の5団体報告がありました。

大学生協からは大学での平和企画に多くの学生が関わって活動をしたことが報告され、知らなかったことを知り、学び、伝えようという気持ちと戦争を繰り返してはならないという思いが伝わってきました。大学生でも多くの人に伝えていくことができるという言葉が心強く、被爆者からは励まされたという声がありました。



東京都生協連平和活動担当者連絡会  
木村早苗さん

次世代に伝える活動を続けたい。

大学生協連  
杉山景子さん

憲法9条も守ります。



東京保健生協  
松崎由美子さん

東友会  
家島昌志さん



原爆被害に国の償いを。

証言DVDを作成しました。



東京地婦連  
飛田恵理子さん

## NPT再検討会議派遣メンバー紹介

ニューヨークで開催されるNPT再検討会議に派遣されるメンバーの紹介と代表あいさつがあり、東京都生協連秋山部長からニューヨークに赴く決意が述べられました。



被爆者の皆さんに残された時間があまりない中、今回の会議は直接被爆者が話をできるという大きな意味を持つ。

世界に向けて核廃絶と平和のメッセージをきちんと伝えていきたい。長年訴えてきたこと、今日のこの会のみんなの思いも届けたい。そして次の世代に伝えたい。

## 核廃絶に向けた アピール



集会アピールを、胎内被爆者である東友会・濱住治郎さんが朗読し、拍手で採択されました。核兵器の非人道性への理解が広がる中、核廃絶の道筋ができ、NPT再検討会議においても「核兵器禁止条約」策定に向けて前進することを望み、私たちが核兵器のある世界を終わらせるため行動し続けるとの決意表明をしました。

## 閉会あいさつ

東京地婦連  
大北恭子さん



みなさんの活動と思いを心強く感じた。これまで続けている戦争のない平和な毎日がこれからも続くようにしていきたい。会場にきているお子さんたちの未来にもそのまま残したい。NPT派遣メンバーのみなさんはその思いを伝えてください。

